



新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症となり、人々の社会活動・経済活動がコロナ前同等に戻りつつあります。そのような中で出てくる1つ1つの相談や地域の課題に向き合って、解決策を考え、試行錯誤しながら実際にやってみるといった事が最近の私の活動では続いています。「不安」を乗り越え「楽しい」になるように、様々な支援策を利用し、提案していきたいです。



令和5年度 12月議会

一般質問ピックアップ

QRコードから動画もご覧いただけます▶

1 子供を取り巻く環境について

●保育の充実

金子▶ 保育所等整備後期計画により保育所が減っていく中で、さらなる保育の充実に向けた取り組みは何か。保育認定に必要な保育を必要とする事由の中に、「1ヵ月64時間以上の就労」があるが、この就労要件は48～64時間の間で自治体が独自に決められる。就労要件を月48時間に緩和してはどうか？

福祉部長▶ 今年4月から幼稚園や認定こども園の預かり保育の利用料を現物給付にした。今後は保育士のスキルアップに努めたい。就労要件の緩和は、市内保護者の就労状況や国の動向を踏まえ総合的に考えていきたい。

▶今年度、アンケートを実施予定！



私の意見！ 桐生市や館林市の就労要件は48時間で、足利市よりも保育園が利用しやすくなっています。「働く」をサポートするには、就労要件の緩和が必要と考えます。

●こども館（児童館）の充実

金子▶ 児童館は子どもが自分の足で行ける施設で、遊び場を併設しており、発達の支援、子どもや家庭の日常生活や子育ての支援などの機能を持つ。法律上18歳までが対象だが、市内の児童館は主に乳幼児向けの講座が充実しており、学童期からの利用が少ないので周知に力を入れて欲しい。不登校の子どもの居場所として利用ができるので、学校と連携して居場所としての利用についても周知してほしい。

福祉部長▶ 子どもの遊び場としての他に、不登校、虐待など社会的な課題を抱えた子どもや保護者へ寄り添う場所として事例を積み重ねていきたい。児童館は近隣の方にも「放課後児童クラブ」だと思われている事も多いため、しっかり周知していきたい。

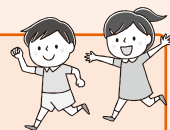
教育長▶ 児童館を居場所として学校や家庭に周知をすることで、不登校児童生徒が一歩家から出るきっかけとなることが期待できる。今後連携に努めていきたい。



私の意見！ 様々な課題を連携の中で解決しながら、児童館でも出席扱いにできるよう取り組んでいきます。

●足利市内のこども館（児童館）●

足利市内には、山川こども館、梁田こども館、にしこども館、八幡こども館の4館があります。子ども向けのイベントを実施しているほか、本や遊具で遊べるスペースもあります。児童厚生員がいて、子どもだけで通って良い施設です。日曜・祝日・年末年始お休み。



山川こども館

詳細HPはこちら▶



2 公共交通について

●足利市地域公共交通計画

金子▶ 少子高齢化やニーズの多様化の中で、これまでの公共交通では行き詰まり感がある。中橋の通行止めが来年秋頃から始まるが、公共交通の今後を見据えた取り組みは？

生活環境部長▶ メリハリのあるバスの運行や、地域住民等が主体となる移動手段の構築、自動運転等の新技術の導入など様々な手法で利便性と持続可能性を確保した地域交通ネットワークの構築に取り組んでいる。中橋通行止めの際にはバスの運行を田中橋へ変更するため、道路状況や走行調査、中橋渋滞対策検討会への参画など情報を集めている。

●足利市地域公共交通計画とは？●

少子高齢・人口減少時代を迎え、運転免許を返納した高齢者や、自家用車を持たない若者の移動手段の確保、利用者と運行経費のバランスを取るなど様々な課題がある中で、地域のニーズを踏まえ、鉄道やバスを主軸としつつ、多様な交通手段を検討し、利便性と持続可能性を確保した公共交通ネットワークの構築を進めるための計画です。中橋架け替え時には、中橋を通る**バスの7路線**を田中橋経由にします。

詳細HPはこちら▶



乗り合いバス先進例の視察に行きました!

長野県茅野市のAI乗り合いオンデマンドバス「のらざあ」

茅野市では令和4年よりスマホアプリや電話で予約する乗り合いバス「のらざあ」を、観光地と別荘地など一部地域を除く市内全域で運行しています。同時に、生活路線バス13路線を廃止し、6つの路線で通勤通学バスの運行を開始しました。

のらざあでは予約時に示される「仮想停留所」が市内に8,000ヶ所あります。自宅から100メートル以内、遠くても350メートル以内に停留所があるそうで、停留所の多さが利用のしやすさに繋がっていると感じました。先進例を研究しながら足利に合う形を考えていきます。



3 公共施設の照明設備について

●照明のLED化

金子▶ 国際的な水銀の規制を目的とした「水銀に関する水俣条約」の締約国会議で、直管型蛍光灯の製造と輸出入を2027年末までに禁止することが合意された。本市の公共施設の照明のLED化はどの程度進んでいるのか、今後の対応について聞きたい。

総合政策部長▶ 平成24年移行に新築や改装し建物はLED照明器具を設置しているが、それ以外は不具合時にLEDに交換している。市役所本庁舎などの公共施設では、LED化されている照明器具は約1割となっている。

私の意見! 本市ではほぼLED化の対策が取られていない。現数を把握して、施設の管理運営方針に合わせたLED化計画を作っている自治体もある。早急な取り組みが必要!

こんなことも頑張っています!「最近の取り組み」ご紹介

◇買い物ツアーの実施

近年、家の近くに商店が無くなってしまったり、免許を返納して車を持たなくなったり、足腰が弱くなり出かけることが困難だったり、買い物や生活に必要なサービスを受けるのに困難を感じる方が増えています。買い物支援として、配送付の買い物サービスの利用、自治会で移動販売を誘致、地域内の人が乗り合いで買い物に行く定期便の運行などの取り組みが増えています。

ある地区で、社会福祉協議会が実施している「買い物ツアー」を実施しました。この事業は、年末年始の一定の期間内に1度、社会福祉協議会が借り上げたバスで市内のショッピングモールに買い物に行くというもので、地域が中心となって企画し、地区社協を通じて申し込みます。

今回は1人暮らし高齢者の方など約20名が参加し、スーパー、洋品店、ホームセンターなどでそれぞれ買い物をして、残りの時間はお茶を飲みながらお喋りに花が咲きました。食料品は家族や知人に買い物を頼むことができますが、洋服や下着などは自分の好みがあり、手に取って買いたいものですね。この事業は単発の買い物支援ですが、地域の買い物ニーズを把握することができ、次の支援策を考えるヒントになります。是非ご利用ご検討ください★

◇登下校や外出時の熱中症対策

今年の夏は40度を超える日もあり、酷暑が長く続きました。私自身、わが子が通う学校の防犯パトロールで



▲買い物ツアーの様子

夏の午後学校まで歩いたときの暑さから、子ども達の熱中症が心配になりましたし、実際に保護者の方々から心配の声を頂きました。

現時点でできる全市的な対策を模索する中、公共施設

でのクールシェアに合わせ、「こども見守りのまちステッカー」掲示者へ、熱中症予防対策へのご協力をお願いするハガキを出すことができました。少しでも地域での見守り体制が強化できますように。また、来年はより早期からの啓発を心がけていきたいです。

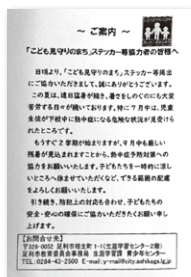
◇相談支援の充実(ひきこもり・不登校)

私が日頃から多くご相談いただく内容の1つが、不登校です。以前から相談機能の充実を訴えてきましたが、オンラインでの相談「ほっとプラス オンラインサポート」が開始されました。Google meetを利用して、予約制でオンライン相談ができます。Google meetは、学校から支給されているタブレット端末からの利用もできます。

また、今年から、ひきこもりや子ども・若者支援の「ポラリス☆とちぎ」の出張ひきこもり相談が足利市で始まりました。今は困ってないけどちょっと心配なことも、どうしたらいいかモヤモヤしてしまうことも、相談してみませんか。



▲見守りのまちステッカーと、送付したハガキ



詳細PDFはこちら▶



●困りごとのご相談や市政に関するご意見など、お気軽にお寄せください●

足利市議会議員 金子ひろみ

〒326-0053 栃木県足利市伊勢町二丁目6-14
TEL&FAX 0284-42-8747

【プロフィール】●昭和54年足利市伊勢町二丁目生まれ ●相生小学校、第三中学校、栃木県立足利女子高校卒業●中央大学商学部経営学科卒業 ●スリランカ、ガーナ、ミャンマーでボランティア活動を行う ●青年海外協力隊として南米ボリビアにて、コーヒー栽培普及・収入向上プロジェクトに携わる ●介護施設で勤務、社会福祉士国家試験に合格 ●平成23年4月 足利市議会議員に初当選 ●平成24年に結婚、二児の母 ●令和5年4月 足利市議会議員に4期目当選



◀ホームページもぜひご覧ください。
kanekohiromi.com
SNSはこちらから▶

